

社会人のための情報システム誌
— 経営近代化のシステム研究 —

Computer Report

9

2012 No.696

3 はじめの言葉

4 毅然たる意思決定は

毅然たる情報処理があつてこそ

田原文夫

情報の量さえ十分であれば、何でも正しい意思決定ができると言わんばかりの言動が目立つ。特に、国のトップである政府の首脳陣をしてそうだから、始末が悪い。適切な情報処理に基づいた意思決定が出来ない言い訳でしかない。いまだに適切な総括ができていない福島第一原発問題だが、むしろ政府および関係者自体が国民の前に明らかにすべき情報公開を阻む姿勢がみてとれる。こういう姿勢こそが最も危険である。国民の知るべき情報を制限する行為そのものだからだ。尖閣列島、島根県竹島、北方領土には、依然として看過できない事件が起こっている。その対応策においても、我が国トップからは国民が納得できるような情報が出てこない。国内事情に関わる情報だけではない。周辺諸国との絡み合いに関する情報についても不明確なままである。我慢強い国民はともかく、周辺諸国の反応は「案の定」と思われる事件となって表面化している。政権与党も野党群も含めて既成政党全体が機能していない。リーダーとしての情報処理能力が欠如している証左である。文字通り、国家国民を挙げて、毅然たる情報処理に対する態度を捉え直す時のようだ。

1 1 情報社会を考える その 24

情報社会作りに、どう関与し、どう貢献していくか

編集部

前向きな意味でのグローバル、リージョナル、そしてローカル/パーソナルな異次元の最適化問題が、新しい情報社会創出のカギとなっている。一方、各国の独自主張、基本姿勢が、大きな課題、矛盾となって表面化して現れた事件が連続している。各国の既得権益の主張合戦が本格化しているのだ。前回も触れたように、これこそ、産みの苦しみの中にある情報社会創出のアドバンテージとストレスである。

1 4 日本再生/世界競争力回復のカギ

何故 M-B I M構築が必要か その 19

水田 浩

今日本は、企業も国も、日本再生の新たなビジネスモデルを創出する多くの機会に直面している。すでに自動車産業では、その生産業務プロセスの全工程を一貫させる情報システム環境の整備に成功している。まさにそのシステム構築の発想アーキテクチャは BIM と同じである。また、三菱重工では豪華客船の建造で、同様の生産ラインの整備に乗り出す決定をした。これもまた、BIM システムの具現化だと言っていいだろう。この動きを、

震災からの復興事業、原子力発電所、病院、学校、橋梁などの保守、新建造の現場へと拡大していくことで日本を再生できる輸出産業の創出が実現できるものと確信する。まずは日本国内にあるプロジェクトを通じ、ニュービジネスモデルを確立し、海外市場に向けた輸出産業へと昇華させていくことを目指したい。BIMこそが、その基本テクノロジーである。

20 連載 アーキテクチャ論 (17)

アーキテクチャモデル

山本修一郎

国立大学法人 名古屋大学 情報連携統括本部 情報戦略室 教授

本稿では、Hatley と Pirbhai [1]によって1980年代後半に提案された手法を拡張した、要求モデルに基づくアーキテクチャモデルの作成法を解説する。

32 違和感のある第三者委員会による

ファーストサーバ社事件の「軽障害」鑑定

aism

ファーストサーバ社によるデータ喪失事件検証の続報である。同社から依頼された第三者委員会の報告書が出され、事件の核心部分とも言える事実が見えてきた。同委員会によると、今回の事件は「軽障害」であるという鑑定がなされている。さっそく aism メンバーによる検証を進めると、この「軽障害」鑑定に違和感を持つ多くの意見が出てきた。そもそも、軽重の判断基準が明確でないことが指摘できそうだ。改めて、アウトソーシングサービス現場の力量との付き合い方を見直してみる必要性を痛感させられる。同時に、ユーザー企業のシステム運用部門の専門スタッフの腕前も問われている。

37 ものの造れる日本再生に向けて 第二／第三の創業へ

Dr.ベスト

第12回 ナレッジマネジメントと

人的資源管理 (HRM) の論理的背景

1970年代のオイルショック後の1980年代は「激動の時代」と予測されたが、実は、「ジャパンアズNo1=No1としてのニッポン」という、今にして思えば黄金期だった。その黄金の夢が一気に醒めたのが、1991年のバブル崩壊という悪夢からの出発だった。そしてそれは、さらに厳しい姿勢で日本全体の産業界のリストラクチャリングに挑戦する時代の幕開きだった。まさに温故知新である。新興国にはない一企業の枠を超えたリストラクチャリングの歴史をひもといてみよう。鉄鋼、造船、エンジニアリング、自動車、電気・電子業界の動向を追いながら、これからの日本再生に向けて踏み込んだ展望をしてみたい。

42 IT新時代とパラダイム・シフト

第36回 テレビとネットの共存を目指した

ロンドンオリンピック

根本忠明

今回のロンドンオリンピックは、テレビ放送とネット中継の新時代を予感させる大会になった。これまではオリンピック中継はテレビ主体であったが、ロンドン大会ではネット中継が大きな役割を果たした。特に、ツイッターの活況が選手と視聴者の間の距離を縮め

たといってよい。他方、オリンピック特需が期待されたテレビ販売は低調であった。今回は、テレビとネットの共存共栄を目指す IOC とテレビ局の動向を中心に、ロンドン大会の総括を試みたい。

4 6 続インテリジェンスへのいざない 32

事実か定かでないデータ、

インテリジェンスの暴走(1)

今井 武

情報社会である。コンピュータの活用が社会的に普及したからでない。確かに、コンピュータは情報処理の増幅器である。しかし本当の情報処理は人間がするもの。コンピュータはツールに過ぎない。この当たり前が解っているくせに、基本となるデータ収集に余計な恣意を介在させてしまう。お粗末である。コンピュータにゴミを入れたらゴミが増幅されるだけである

4 9 一味違うウェブ検索

第二十六話 資料のチェック③

少数意見に留意したバランスある情報収集に務める

ぐうのうえぶへい

今回は収集した資料のチェックの第三回目である。世間で話題になっている事柄について、マスコミの報道は、しばしばバランスを欠いている場合がある。この中で少数派の見解を留意し、バランスのある情報収集の方法について、紹介しよう。

5 2 連載 ことわざ笑タイム

すぎやまちヒロ

☆☆

WebCR 編集部からのお知らせ

本誌に連載／掲載されている記事に関するご質問、ご意見をお待ちしております。近い将来に予定されているプロジェクトに先立って不安や問題点の確認をなされたい方、現在進行中のシステムのプロジェクトマネジメントにおけるトラブル関連など、何でも結構ですので、下記メールアドレスまでお寄せ下さい。

cr-info@jmsi.co.jp

☆☆

セミナー／講演会の講師紹介

ユーザー会/各種研究会/勉強会における
セミナー/講演会での講師をご紹介します。

クラウドサービス導入前のチェックポイント

クラウドサービスは果たしてTCO削減に寄与するか

レガシーマイグレーションの進め方と留意点

これからの企業情報システム構築のポイント

これからの金融情報システムの課題

役に立つ情報管理の実践と課題

情報セキュリティ監査の受け方／臨み方

リポジトリベースのシステム資源管理

その他 クラウドサービス導入にお悩みの方

など 各種コンサルティングも承ります

ご質問／何でも相談は下記まで
株式会社 日本経営科学研究所
ComputerReport編集部

cr-info@jmsi.co.jp

CR 選書のご案内

CR選書

改訂版
データ・ウェアハウス

定価 本体 2,816円+税 送料(〒300) A5版 289頁

石井 義興 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 目録が必要としているデータ	第七章 情報システム部門しかできないデータ・ウェアハウスのサポート
第二章 データベースとデータ・ウェアハウスの構造と	第八章 データ・ウェアハウスの構築とデータ移行ツール
第三章 OLAP用のデータ・ウェアハウス	第九章 データ・ウェアハウスの利用とエンドユーザーツール
第四章 リレーショナル・モデルとネストド・リレーショナル・モデル	第十章 データ・ウェアハウスの保守とオートメーション
第五章 正規化の問題点とデータ・ウェアハウス	
第六章 データ・ウェアハウス管理システム	付録

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

実践データ・ウェアハウス
OLAP

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A5版 249頁

豊島一政・木村 哲 共著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 これまでのEUCIでできなかったこと	第七章 多次元データベースを作る
第二章 OLAPの定義	第八章 多次元データベースの構造
第三章 Code博士によるOLAPプログラムの評価ツール	第九章 多次元データベースとアプリケーション
第四章 分析処理の歴史	第十章 OLAP/サーバーとフロントエンド
第五章 OLAP(多次元データベース)の形	第十一章 OLAPアプリケーションパッケージ
第六章 データウェアハウスとOLAP	付録

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

消費者行動論

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A4版 181頁

田原文夫 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 消費者行動論	第四章 消費者意志決定
第二章 消費者行動と心理的決定要素	第五章 消費者行動トピックス
第三章 消費者行動と社会的決定要素	第六章 人間であること(人間行動トピックス)

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

aism 研究活動報告
インターネットセキュリティの
落とし穴

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A4版 197頁

一橋大学教授 安田 聖 監修
aism情報セキュリティ・マシントリニクス 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 落とし穴を回避するための基礎テクノロジー	第十一章 WORM、KLEZの監視と駆除
第二章 aism情報セキュリティマシントリニクス研究会の発足	第十二章 メールが通らない
第三章 認知される電子署名方式の基本原則	第十三章 生体ネット運用のための情報オーナーの建設
第四章 世界を駆けめぐったCodeRedワーム	第十四章 最近のインターネット防衛戦線心得
第五章 情報システムにおけるリスク	第十五章 ITガバナンスの意識と情報セキュリティ対策
第六章 情報漏洩対策	第十六章 情報セキュリティ対策とセキュリティ教育
第七章 VPN(バーチャルプライベートネットワーク)	第十七章 ケーススタディ「情報セキュリティ教育」
第八章 aismの対応体系の構築計画	第十八章 セキュリティポリシー作成にあたってのノウハウ
第九章 情報セキュリティ情報研究会の発足と課題	
第十章 インターネット関連の苦情と不正アクセス	

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

エンタープライズ情報システム設計の基本書！
トップ主導の
情報システム革新

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A4版 271頁

高田 顯重 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 情報システム利用環境の変遷と今日的課題	第五章 情報システム監査
第二章 経営活動と情報システム	第六章 情報システム部門の体制革新
第三章 経営情報システム革新の方向	第七章 情報システムの成果評価
第四章 トップ主導の情報システム開発	第八章 変化対応のシステム作り

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

計量モデルの構造と解法
—オーダーリングとスパース—

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A4版 213頁

安田 聖 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一部 計量モデル	第二部 大規模モデルの効率的解法
第一章 計量モデルと計量モデルの解法と歴史	第五章 計量モデルの分解方法
第二章 線形計量モデルの解法	第六章 方型式のオーダーリング
第三章 非線形計量モデルの解法	第七章 大規模モデルの解法
第四章 反復法の問題点	第八章 スパース
付録・電子計算機の高速化と計量方法	

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

『いざ！というときの得広報』
すぐに役立つ実践117カ条

定価 本体 1,746円+税 送料(〒300) A5版 226頁

加藤 洋一 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

■ 広報ビジネスの前提条件	■ 売れない企業体質
■ ニュースリリースは東方向運賃	■ 守るも攻めるも広報が窓口
■ 活字媒体の特性をチェックする	■ あなたならどう対応する「事例編」
■ 記事の材料(ネタ)と発表のテクニック	<付> 記事とうまく付き合うための鉄則(まとめ)

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

ザ・ワールドリンク
がんばれ、国際グローバルサーバー—
IBM社に挑んだ国際情報システム作りの物語

定価 本体 1,846円+税 送料(〒300) A5版 266頁

迫 忠幸・湯浅 誠 共著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 発端	第十一章 日本開港手続の違い
第二章 あるプロジェクト	第十二章 米軍チーム撤退の危機
第三章 新しいシステムへの働き	第十三章 新たなメンバー
第四章 WOOIに向けて	第十四章 米軍撤退所帯と新たな組み
第五章 FJO、IBM競争	第十五章 開港手続とハンタツ
第六章 日本プロジェクトチームの発足	第十六章 ユーザー教育
第七章 プロジェクト開始	第十七章 日本運用体制と本番後日誌
第八章 米軍チーム立ち上りの流れ	第十八章 既存システムとのデータ交換の問題
第九章 大きな壁、英語コミュニケーション	第十九章 稼働時の一 直前、稼働、直後の苦しみ
第十章 米軍チーム、異なる三人組	第二十章 稼働時の二 安眠薬と北米センター移設

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp